

◎12月臨時総会

- | | |
|----------|---|
| 1. 担当 | 総務委員会 |
| 2. 日時 | 2009年12月9日(水) 17時00分～17時25分 |
| 3. 場所 | 秋田キャッスルホテル 4F 放光の間 |
| 4. 開催主旨 | 定款・規定に則り開催 |
| 5. 実施内容 | 1. 事業報告(中間報告)
2. 審議事項
<第1号議案> 2010年度予算(案)承認の件 |
| 6. 満足点 | 1 審議案件が満場一致にて承認された点。
2 委員会メンバーが各役割を把握し、一丸となつて運営にあたっていた点。 |
| 7. 不満点 | 1 JCIクリードの際、担当者が緊張の余り手順を間違ってしまった点。
2 開始時間の関係上、出席率が低調であった点。 |
| 8. 課題 | 例会、卒業式と同日開催のため開始時刻が通常より早く、どうしても出席率が伸び悩む傾向がある。卒業式との別日開催や例会との順番の変更等も検討してみたいと感じた。 |
| 9. その他 | 9月定時総会の反省を踏まえ、会場出入口に表示を設け総会中の入退場管理をしっかりと行うことができ、また総会自体も3回目を向かえスムーズに進められた事は非常に良かったと思う。 |
| 10. 総事業費 | 0円 |
| 11. 出席率 | 62% |

(2) 例

会

◎ 1月新年例会

1. 担当場所
世代間協働推進委員会
2009年1月16日(金) 16時00分～17時40分
シヤインプラザ平安閣 4 F天翔の間(式典)・2
F瑞雲の間
2. 開催主旨
本会は、毎年秋田青年会議所をご支援、ご協力いただき恒例の場です。小畑理事長率いる2009年度秋田青年会議所の船出の場として重要な節目の会になると考えます。
3. 実施内容
式典：来賓・来訪J C・O B会員をお招きし、理事事務所・2009年度活動方針発表・役員紹介を行った。
懇親会：来賓・来訪J C・O B会員の方々との懇親を深めた。
4. 満足点
・ジュニールで運営できた点。
・多くの方々に出席いただいた点。
・委員会メンバーが一丸となって運営にあたった点。
5. 不満足点
・来賓、O B、来訪J Cの退場がスムーズに行えなかった点。
・式典の退場時に拍手がなかった点。
・国歌のC Dがうまく流れなかった点。
・来賓の方の肩書きが間違っていた点。
・O B受付にて、情報がなかった点。
・来賓に関する情報が錯綜した点。
6. 課題
開会の際、来賓の方々の来場について情報が錯綜し、混乱を招きかけた。各担当者の責任の範囲を示す必要があると考えた。L O Mメンバーとなつて行つたためには、事前に役割分担等、入念な打ち合わせが欠かせないと考えられる。今回の不満足は全て過去に発生したものであり、引き続き事項は前年だけでなく、過去全てを含めて取り組まなければならない。引継ぎ事項は前年だけでなく引継ぎするべきである。
7. その他
懇親会の中締めは直前代表世話人にお願ひすること慣例であるので、混乱を招かないためにもその形に戻す必要がある。
8. 総事業費
194,578円
9. 出席率
78%

事業収支決算書

書式-4

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	200,000	194,578	5,422	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	200,000	194,578	5,422	
(支出の部)				
1. 会場設営費	124,600	124,593	7	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	0	0	0	
5. 資料作成費	0	0	0	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	73,000	69,985	3,015	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	2,400	0	2,400	
支出合計(2)	200,000	194,578	5,422	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎ 2月例会

1. 担当 環境行動推進委員会
 2. 日時 2009年2月10日(火) 18時30分～21時10分
 3. 場所 秋田キヤッスホテル 4F 放光の間
 4. 開催主旨 今まで行ってきた様々な環境保護運動の中には現状の環境破壊に対応できていないものも有ります。そこで、それらを見極め我々や企業が温暖化防止の為に危機感を持ち今すぐ効果的な環境保護運動に取り組む事が重要です。そこで、環境保護運動の効果を様々な視点から知ること、メンバーそれぞれが意識を高め家庭や企業等で今すぐに取り組める環境保護運動を学ぶ場が必要だと考えます。

5. 実施内容

- 講師例会
 講師 進藤 勇治氏
 テーマ 「今の地球、これからの地球、私たちがやるべき環境保護活動」

6. 満足点

- ・途中退席者も無く、多くのメンバーに熱心に聞いていただけた点。
- ・委員会メンバーがそれぞれの役割を遂行しスムーズに設定できた点。
- ・ご講演から、これからの事業につながるヒントが得られた点。

7. 不満点

- ・今後の環境問題についての取り組みに対する内容の時間が少なかつた点。
- ・当日のレイアウトが変更になり三役・監事・常任の席に不足が出た点。

8. 課題

- ・当日にレイアウトの再確認が必要。
- ・講演の重要なポイントを講師に再確認すること。
- ・行政や、環境保護運動をされている招待者の方から講演の内容に共感を表明していただき、今後の事業における協力の申し出をいただいた。

10. 総事業費

- ・MY箸運動に多くのメンバーから賛同いただいた。

11. 出席率

- 457,920円
- 78%

事業収支決算書

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	555,000	457,920	97,080	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	555,000	457,920	97,080	
(支出の部)				
1. 会場設営費	275,900	192,050	83,850	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	264,590	264,590	0	
5. 資料作成費	0	0	0	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	1,280	1,280	0	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	13,230	0	13,230	
支出合計(2)	555,000	457,920	97,080	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎ 3月例会

1. 当時 情報コミュニケーション委員会
2. 担 2009年3月12日(木) 18時30分～21時10分
3. 日 秋田キヤッスホテル 4F 放光の間
4. 場所 情報化社会の進化に伴い、利便性を追い求める結果
「合理化」や「スピード化」が進み、現代社会にお
いては相互意思の確認が携帯電話やメールといった
間接的な手段が主流になり、それらが必要不可欠と
なる一方、コミュニケーション不足が様々な問題を引き起
り、コミュニケーションに感じられます。そこで、今後進
化している情報コミュニケーション技術(ICT)
やコミュニケーションの形を学び、メリット・デメ
リットを正確に理解する事で、時代の変化に対応し
た、社会のあらゆる場面で有効活用できるコミュニ
ケーション能力を身に付けることが必要と考えます。

5. 実施内容

講師 遠竹 智寿子氏
テーマ 「進化する情報化社会 次世代のコミュニ
ケーションを考えよう」

6. 満 足 点
 - ・委員会メンバーが早い時間から集合し、事前に入
念な打ち合わせを行いスムーズに設営できた点。
 - ・資料を映し出すところに工夫を加え、より伝わり
易い手法を行なった点。
 - ・講演の内容から、今後各委員会で行う事業に関し
てのヒントが得られた点。
 - ・講演開始時PCに不具合が生じ、映像が写らず多
少開始が遅れた事。
 - ・内容が多岐にわたったり、一ひとつの項目が詳しく
聞き出せなかった点。
 - ・講演で資料を映し出す場合、事前に講師の使用機
器を確認し、こちらで用意した機材との互換性を
確認する必要があると感じた。
 - ・また、講演で表現したい事が多すぎたため、各ポ
イントでの詳しい説明が足りないようにも感じら
れたので、例会で表現したい重要な部分を絞って
講師と打ち合わせする事が重要と感じた。
 - ・先月の例会に引き続きMY箸運動を実施したが、
かなり定着してきているように見受けられた。
10. 総事業費 363,330円
11. 出席率 80%

事業収支決算書

書式一4

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	430,000	363,330	66,670	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	430,000	363,330	66,670	
(支出の部)				
1. 会場設営費	275,900	215,700	60,200	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	147,550	147,550	0	
5. 資料作成費	0	0	0	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	80	80	0	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	6,470	0	6,470	
支出合計(2)	430,000	363,330	66,670	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎ 4 月例会

1. 担 当 時 所
2. 日 場
3. 開 催 主 旨
4. 開 催 主 旨

人間力開発委員会
2009年4月16日(木) 18時30分～21時05分
秋田キヤッスルホテル 4F 放光の間
利己主義、拝金主義、享楽的な考え方が蔓延しているように感じられる昨今、数々の企業不祥事や政治家、官僚による不祥事など、多くの社会問題もこれに起因しているように思われます。身近に目を向け、ても、自分の子供の非を叱ることができない親や、駅車場等で健常者が障害者スペースを利用するなど、自分が良ければよいという光景を目にします。今こそ日本人が持つべき豊かさを、正しく生かす。活規範などについてあらためて学び、今後の我々が誇りと正しい規範をもって行動すべきだと考えます。

5. 実施内容

- 講師 中條 高德氏
講師 高橋 高徳氏
テーマ 「誇りと規範
～日本から失われた大切な物を、今、取り戻すために～」
- ・ 誇りと規範が失われていった経緯だけではなく、私たちがこれからどうするべきかについても講演していただいたことにより、自分たちが率先して行動していかなければならないことを再認識できたこと。
 - ・ 出席率も86%となり、多くの会員に参加していた点。
 - ・ 途中退場も少なく、最後まで真剣に講師の話を聞いていただいた点。
 - ・ 食事からオプザーバー入場までの準備に手間がかかり、多少開始が遅れてしまった点。
 - ・ 準備の際、ニユースリリースが後回しになってしままい、後手にまわったこと。今後は、日程、開催場所などが決まった段階ですみややかにニユースリリースを提出する。
 - ・ 2月例会から始まっているMY着運動について、最近定着率が落ちてきているように見受けられる。再度定着をはかる必要があると考えます。

10. 総事業費 561,270円
11. 出席率 86%

事業収支決算書

書式-4

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	650,000	561,270	77,980	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	650,000	561,270	77,980	
(支出の部)				
1. 会場設営費	275,900	194,200	70,950	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	366,110	366,110	0	
5. 資料作成費	0	0	0	
6. 広報報成費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険除信料	0	0	0	
12. 通信費	880	960	△80	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	7,110	0	7,110	
支出合計(2)	650,000	561,270	77,980	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎ 5月例会

1. 担 当 企業貢献力向上委員会
2. 日 時 2009年5月14日(木) 18時30分～21時05分
3. 場 所 秋田キヤッスルホテル 4F 放光の間
4. 開催主旨 私たちの暮らす秋田では、個人や企業、各団体が地域が良くなることを思い、様々な活動を行っています。未だに多くの社会問題が山積しており、閉塞感が漂っています。今こそ地域に根差した企業が牽引役となり、地域への思いやりを胸に地域貢献活動へ取り組み、地域活性化へとつながる必要があります。企業の地域貢献活動の意義、大切さを再認識することにより、地域企業の潜在能力を発揮するきっかけとし、「輝ける未来あきた」実現を目指します。

5. 実施内容
 - 講師 師 社団法人 日本ファイランソロンピー協会
理事長 高橋陽子氏
 - テーマ 「地域活性化につながる企業の地域貢献を学ぼう」
6. 満足点
 - ・ 地域における企業の責任について再認識すること
 - ・ 出来、全国各地の様々な企業の事例を基に、具体的な貢献活動について気付きを得た点。
 - ・ 途中退場も少なく、最後まで真剣に講師の話を聞いていた点。
 - ・ 質疑応答が活発であった点。
 - ・ リハーサルが徹底されていたため、監事講習の際、演台の移動を忘れた点。
7. 不満点
 - ・ 定型だから出来ると思い込まずに、個々の役割分担の徹底を図るとともに、リハーサルは通して最後まで行う必要がある。
8. 課題
 - ・ 事業の方向性をご示唆いただいたので、しっかりと事業に反映させ、地域活性化へとつなげる。
10. 総事業費 344,980円
11. 出席率 78%

事業収支決算書

書式一4

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	444,000	344,980	99,020	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	444,000	344,980	99,020	
(支出の部)				
1. 会場設営費	275,900	187,750	88,150	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	157,150	157,150	0	
5. 資料作成費	0	0	0	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	80	80	0	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	10,870	0	10,870	
支出合計(2)	444,000	344,980	99,020	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎ 6 月例会

1. 担 当 時 所
2. 日 期 2009年6月11日(木) 18時30分～21時05分
3. 場 所 秋田キヤッスルホテル 4F 放光の間
4. 開 催 主 旨 「おもいやり」の心推進委員会
近年、人と人のつながりが希薄になり、「自分さえ
良ければ良い」という利己主義の蔓延が原因と思わ
れる、反道徳的な事件の増加や社会全体のモラル低
下が見受けられます。そこで、まず私たちが「周囲
とともに生きていくこと」や、「いのち」の尊さを
再確認し、助け合い、支え合いながら生活してきた
日本人が本来持つ「おもいやり」や「利他の精神」
を呼び起こし、その「心」をもって、豊かな地域社
会になるように伝播していくことが必要だと考えま
す。

事業収支決算書

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	600,000	508,080	91,920	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	600,000	508,080	91,920	
(支出の部)				
1. 会場設営費	275,900	187,750	88,150	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	320,250	320,250	0	
5. 資料作成費	0	0	0	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	80	80	0	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	3,770	0	3,770	
支出合計(2)	600,000	508,080	91,920	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

5. 実施内容
講師例会
講 師 特定非営利活動法人
いのちをバトンタッチする会
代 表 鈴木 中人氏
テ ー マ 「利他の精神を呼び起こし、おもいやりの心を伝えよう」
6. 満 足 点
・ 講師との打ち合わせを十分に行った為、講師の伝えたいこと、メンバーに伝えたいことを十分に追お話していただけた点。
・ 委員会メンバーが一丸となって設営した点
・ 途中退場も少なく、最後まで真剣に講師の話を聞いていただいた点。
・ オブザーバーが退場する際の連絡に不備があり、一時進行が滞った点。
・ 拡大対象であるオブザーバーの席礼表記が入会希望者としており、参加者を戸惑わせてしまった点。
・ 過去のオブザーバーの意見により、入退場をアナウンスしない方法をとったが、スムーズに行きませんでした。特に退場に関しては通常の方法で行くべきと思います。
7. 不 満 点
・ 拡大対象であるオブザーバーの席礼表記が入会希望者としており、参加者を戸惑わせてしまった点。
・ 過去のオブザーバーの意見により、入退場をアナウンスしない方法をとったが、スムーズに行きませんでした。特に退場に関しては通常の方法で行くべきと思います。
8. 課 題
・ 拡大対象であるオブザーバーの席礼表記が入会希望者としており、参加者を戸惑わせてしまった点。
・ 過去のオブザーバーの意見により、入退場をアナウンスしない方法をとったが、スムーズに行きませんでした。特に退場に関しては通常の方法で行くべきと思います。
9. そ の 他
10. 総事業費 520,980円
11. 出席率 77%

◎ 7月例会

1. 担当 事務局・財政局
 2. 日時 2009年7月4日(土) 11時00分～11時35分
 3. 場所 湯沢グランドホテル 2階 ダイアモンドホール
 4. 開催主旨 湘湯沢青年会議所主管にて開催される「第39回秋田ブロック会員大会」において、今後のJIC運動を活性化させる為に多くの会員が参加・交流し絆を深め、更に各々の資質向上を図る事が必要と考えます。

5. 実施内容 移動例会(第39回秋田ブロック会員大会)
 テーマ 「広げよう そして深めよう 秋田の絆」
 ・担当の事務局・財政局メンバーが一丸となって設営し、移動例会であったがスムーズに進行できた

6. 満足点
 ・秋田ブロック協議会出向者の活躍を目的の当たりにし、出向者とLOMからの参加者が互いにより刺激を与え合うことができた点

7. 不満点
 ・記念式典～メインフォーラム、アワードセレモニーにおいて、会場内の参加人数が登録者数に比較して少なかった点

8. 課題
 ・移動例会時に必ず課題となる出席率の低さが今回も課題となった。過去の移動例会の実績は06年(郡山全国大会、53%) 07年(湖東ブロック大会、67%) 08年(横手ブロック大会55%)となっており、残念ながら低い数値で推移している。毎年担当者が委員会まわり等PRをしてはいるが、それに加えて我々理事事会構成メンバーが、常に各種大会参加の意義や楽しさをメンバーに唱え続けることが重要と感じた。

9. その他
 ・メディアリテラシーに関するメインフォーラムは、非常に勉強になる内容であった。
 ・交流事業においては、参加メンバーの笑顔が絶えず、LOM内外の交流が深められたうえ、秋田JICは優勝することができた。

10. 総事業費 10,500円
 11. 出席率 66%

事業収支決算書

書式-4

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	10,500	10,500	0	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	10,500	10,500	0	
(支出の部)				
1. 会場設営費	10,500	10,500	0	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	0	0	0	
5. 資料作成費	0	0	0	
6. 広報報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	0	0	0	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	0	0	0	
支出合計(2)	10,500	10,500	0	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎ 8 月例会

1. 担 当 事務局・財政局、会員拡大会議
 2. 日 時 2009年 8月19日 (水) 18時00分～21時00分
 3. 場 所 シヤインプラザ平安閣秋田
 4. 開催主旨 これまでの秋田 J C の歴史を築いてきた O B 会員の経験と知識は、現役会員にとって大きな目標でありかけがえのない宝であります。O B 例会に参加し、O B 会員と共に学び同じ時間を共有し秋田 J C として世代を越えて絆を深め、また今後の事業展開に向けて新たな気付きを得る事が必要と考えます。

5. 実施内容 O B ・現役交流会
 テーマ 「世代を越えて、秋田 J C の絆を深めよう」

6. 満 足 点 ・事務局・財政局と会員拡大会議のメンバー同士が連携を密にとり、一丸となって設営し、会場移動があったがスムーズに進行できた点
 ・O B と現役の会員同士が積極的に交流し、絆を深めることができた点
 ・開始時間が若干遅れた点
 ・特になし
 ・メンバーへの例会内容がきちんと伝えられておらず、多少の混乱があった。委員会内の情報伝達を入念に行うべきであった事。

9. そ の 他 ・このような設えの場合、出欠や席次の修正が直前まで行われることが多々あるため、担当者同士(本例会でいえば、事務局・財政局、会員拡大会議、O B 会、会場担当者)の連絡を十分にとることが重要と考える。

10. 総事業費 152,000円

11. 出席率 73%

事業収支決算書

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	0
2. 懇親会収入	0	0	0	0
3. 寄付金収入	0	0	0	0
4. 補助金収入	0	0	0	0
5. 助成金収入	0	0	0	0
6. 広告料収入	0	0	0	0
7. 販売収入	0	0	0	0
8. 事業費繰入収入	260,000	152,000	108,000	108,000
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	0
10. 雑収入	0	0	0	0
11. 預り金収入	0	0	0	0
収入合計(1)	260,000	152,000	108,000	108,000
(支出の部)				
1. 会場設営費	260,000	152,000	108,000	108,000
2. 本部団関係費	0	0	0	0
3. 企画・演出費	0	0	0	0
4. 講師関係費	0	0	0	0
5. 資料作成費	0	0	0	0
6. 広報報費	0	0	0	0
7. 報告書作成費	0	0	0	0
8. 懇親会費	0	0	0	0
9. 旅費交通費	0	0	0	0
10. 参加記念品費	0	0	0	0
11. 保険料	0	0	0	0
12. 通信費	0	0	0	0
13. 雑費	0	0	0	0
14. 預り金支出	0	0	0	0
15. 予備費	0	0	0	0
支出合計(2)	260,000	152,000	108,000	108,000
収支差額(1)ー(2)	0	0	0	0

◎ 9月例会

1. 担当 当時
2. 日 所
3. 場 所
4. 開催 主旨

総務委員会
 2009年9月15日(火) 18時30分～21時10分
 秋田キヤッスホテルホテル 4F 放光の間
 社団法人制度改革に伴い、「公益社団法人格取得を決議した今後についても、「地域」に必要とされる組織」であり続ける為に、JIC運動の本質を再認識した上で、新制度に対応した将来のLOMの可能性についてより高い見識を持つ必要があると考えます。そこで講演よりJIC運動の本質を見極め、社会の負託と信頼に応えJICとして、LOMが将来あるべき「形、行動」について示唆いたたくと同時に、より高い見識を持つ為の気付きを得る場とし、本例会を実施致しました。

5. 実施内容

講師 小田與之彦氏
 テーマ 「地域により必要とされる組織であり続けるために」
 ・委員会メンバーが一丸となり、例会運営に携わった点。
 ・講演内容が同日開催した定時総会と連動していて、メンバーへ効果的に伝わった点。
 ・委員会メンバーに対する指示において伝達不足があり、講師退場の際ドアの閉閉に不備があった点。
 ・会場の切り替えに際し、進行には影響は無かったものの、ネームブレイクの撤去に遅滞が見られた点。

6. 満足点

・講演内容が同日開催した定時総会と連動していて、メンバーへ効果的に伝わった点。

7. 不満点

・委員会メンバーに対する指示において伝達不足があり、講師退場の際ドアの閉閉に不備があった点。
 ・会場の切り替えに際し、進行には影響は無かったものの、ネームブレイクの撤去に遅滞が見られた点。

8. 課題

・講演内容について他LOMでの事業紹介等、事前発表されたものより少なかった点。
 ・委員会メンバーに対する役割指示に不備が発生した。例会進行表等の内容や事前打ち合わせに関し、当日の確認を強化する必要がある。
 ・講師との打ち合わせを密に行っていたが、要望を伝えきれなかった部分があるので、話していたべき内容や、うまく進行する事が出来なかった。事前に委員会内で当日を想定したリハーサル等を行っていたが、その配慮や、メンバー一人ひとりが細部にわたった進捗に心掛ける意識を高める必要があると感じた。

9. その他

・事前に委員会内で当日を想定したリハーサル等を行っていたが、その配慮や、メンバー一人ひとりが細部にわたった進捗に心掛ける意識を高める必要があると感じた。

10. 総事業費

323,608円

11. 出席率

74%

事業収支決算書

書式-4

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	435,000	323,608	111,392	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	435,000	323,608	111,392	
(支出の部)				
1. 会場設 営 費	295,250	196,350	98,900	
2. 本部 団 関 係 費	0	0	0	
3. 企 画 ・ 演 出 費	0	0	0	
4. 講 師 関 係 費	128,250	127,178	1,072	
5. 資 料 作 成 費	0	0	0	
6. 広 報 費	0	0	0	
7. 報 告 書 作 成 費	0	0	0	
8. 懇 親 会 費	0	0	0	
9. 旅 費 交 通 費	0	0	0	
10. 参 加 記 念 品 費	0	0	0	
11. 保 険 料	0	0	0	
12. 通 信 費	80	80	0	
13. 雑 費	0	0	0	
14. 預 り 金 支 出	0	0	0	
15. 予 備 費	11,420	0	11,420	
支出合計(2)	435,000	323,608	111,392	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎10月例会

1. 担 当 時 所
2. 日 場
3. 場 所
4. 開催主旨

地域の魅力創造委員会
 2009年10月7日(水)18時30分～21時10分
 秋田キヤッスホテル4F放光の間
 現在、様々な団体が多種多様なまちづくりを行っている地域活性化のために取組んでいます。市民は将来に不安を感じており、そのことがあるように誇りや愛着を薄れさせる要因になっているように思われます。そこで、市民とともに、地域の魅力を検証し、市民が誇りや感動を共有できる「+αの価値」を付加することで、市民と一体となって取組める、あきただのまちづくりの核となるものの創出が必要であると考えます。

5. 実施内容

講師 渡辺 英彦氏 氏
 テーマ 「感性価値」を創造し、地域の魅力をまちづくりに活かそう
 ・例会開始前に十分にリハーサルを行うことができ、スムーズに進行できた点。

6. 満足点

・まちづくりを行うにあたり、コンセプトが大事なものは当たり前であり、今の時代はその素材をいかに市民に認識していただくかが重要であり、そのためには感性価値を用いた手法がとても有効であることを認識できたこと。

7. 不満点

・メンバーの会場入場に手間取った点。
 ・食以外についても、感性価値を用いる手法が活かせるといことはお話していただいたが、具体的なお話をしていただけなかつた点。

8. 課題

・オプザーバーへ資料を配布していただきた点。
 ・オプザーバーへの資料配布など、細やかなところまでチェックできるように打合せをさらに入念にする必要がある。

9. その他

・直前理事長挨拶中にメンバーが会場に入場していた。
 ・講演中携帯電話の着信音が鳴っていた。

10. 総事業費

357,130円

11. 出席率

71%

事業収支決算書

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	489,000	357,130	131,870	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	489,000	357,130	131,870	
(支出の部)				
1. 会場設営費	295,250	194,200	101,050	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	179,470	162,850	16,620	
5. 資料作成費	0	0	0	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	80	80	0	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	14,200	0	14,200	
支出合計(2)	489,000	357,130	131,870	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

1. 担当 青少年育成委員会
 2. 日時 2009年11月11日(木) 18時30分～21時10分
 3. 場所 秋田キヤッスルホテル 4 F 放光の閣
 4. 開催主旨 現代の日本の子供たちは、昔と比べ、物質的な豊かさにより多く享受している為、学力や身体の上向き上しているように思えますが、心の豊かさまでも向上しているように思えません。

そこで、子供たちの心を豊かにする為、感謝や尊敬、素直な心など、継承すべき道徳心を我々の想いとしてしっかり子供たちに伝える手法を学び、心豊かな地域社会を築く為実践する事が必要だと考えます。

5. 実施内容

講師例会
 講師 親業訓練協会 特別顧問 近藤千恵 氏
 テーマ 「子どもにもあなたの想いが伝わっていますか?」

6. 満足点
 ・途中退場者もなく最後まで熱心に聞いていただけました。

7. 不満点
 ・今までの事業を検証し、メンバーや市民の方々にご報告できた点。
 ・事前の打ち合わせ通りにお話しただき良かった内容を講演で聴けた点。

8. 課題
 ・オプザーバーの方によく集まっていたいただき、秋田JICとして、道徳心を伝える想いを発信できた点。
 ・委員会が丸となってスムーズに運営できた点。
 ・講演時にメンバーが少なかった点。

9. その他
 ・取材対応時に主催が青少年育成委員会と誤解されてしまった。取材を受ける際に主催者と開催趣旨をしっかりと伝えるために、事前取材担当を決め対応を統一する必要がある。

10. 総事業費 530,798円
 11. 出席率 78%

事業収支決算書

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	665,000	530,798	134,202	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	665,000	530,798	134,202	
(支出の部)				
1. 会場設営費	295,250	170,550	124,700	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	357,150	354,048	3,102	
5. 資料作成費	0	0	0	
6. 広報報費	5,000	5,000	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	1,200	1,200	0	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	6,400	6,400	0	
支出合計(2)	665,000	530,798	134,202	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

事業収支決算書

◎12月例会・卒業式

- 常任理事・会員拡大会議
 2009年12月9日(水) 17:30~18:30
 秋田キヤッスルホテル 4F 放光の間
 2009年度(社)秋田青年会議所は、笑顔が彩る未来
 輝くあきたを目指し、たゆまぬ努力を重ねてきまし
 た。益々運動・活動を推進していくために、メン
 バーが、この一年を各々の立場で振り返り、来年度
 以降の取り組みに弾みをつける場が必要と考えます。
 ・12月例会
 テーマ：「2009年回顧、これからの“未来輝くあき
 た”実現に繋げよう」
 ・卒業式
 テーマ：「熱い志を胸に、羽ばたけ！13フェニックス、
 今旅立ちの時」
 <12月例会>
 ・大きな失敗もなく、滞りなく実施できた点
 <卒業式>
 ・当初登録数より多くのメンバーに参加していただ
 いた点
 ・現役メンバーが積極的に卒業生・OBとの関わり
 を持っていた点
 <12月例会>
 ・時間調整が不十分で、卒業式開始ギリギリまでか
 かってしまった点
 <卒業式>
 ・会場の都合で事前リハーサルが出来なかった点
 ・一部卒業証書に間違いがあった点
 特になし。
 8. 課題
 特になし。
 9. その他
 354,307円
 10. 総事業費
 81%

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	390,000	354,307	35,693	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	390,000	354,307	35,693	
(支出の部)				
1. 会場設営費	95,750	95,750	0	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	40,000	36,262	3,738	
4. 講師関係費	0	0	0	
5. 資料作成費	90,000	90,000	0	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	136,500	110,500	26,000	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	24,960	21,795	3,165	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	2,790	0	2,790	
支出合計(2)	390,000	354,307	35,693	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

(3) 理 事 会

第1回理事会

1. 日 時 2009年1月9日(金) 18:00～
2. 場 所 秋田キャッスルホテル
3. 審議事項
 - 1) 予定者会議の審議事項一括承認の件
 - 2) 2008年度決算承認の件
 - 3) 2009年度修正予算(案)の件
 - 4) 2月例会(案)の件
 - 5) 第25回全国J Cサッカー選手権大会実行委員会の件
 - 6) その他

第2回理事会

1. 日 時 2009年2月5日(木) 18:00～
2. 場 所 秋田キャッスルホテル
3. 審議事項
 - 1) 3月例会(案)の件
 - 2) 1月定時総会決算承認の件
 - 3) 新年例会決算承認の件
 - 4) 人間力開発プログラム(案)の件
 - 5) その他

第3回理事会

1. 日 時 2009年3月5日(木) 18:00～
2. 場 所 ユーランドホテル八橋
3. 審議事項
 - 1) 4月例会(案)の件
 - 2) 2月例会決算承認の件
 - 3) サケの稚魚放流事業(案)の件
 - 4) 地域の魅力創造委員会オープン委員会(案)の件
 - 5) 世代間協働推進委員会意見交換会(案)の件
 - 6) 青少年育成委員会オープン委員会(案)
 - 7) 3月例会(再審議)の件
 - 8) その他

第4回理事会

1. 日 時 2009年4月3日(金) 18:00～
2. 場 所 ユーランドホテル八橋
3. 審議事項
 - 1) 5月例会(案)の件
 - 2) 3月例会決算承認の件

- 3) 環境行動推進委員会オープン委員会（案）の件
- 4) 上期仮会員承認の件
- 5) 上期仮会員における理事会の指定する諸会合（案）の件
- 6) ヒップファミリークラブ後援・名義使用依頼の件
- 7) その他

第5回理事会

1. 日 時 2009年5月7日（木）18：00～
2. 場 所 ユーランドホテル八橋
3. 審議事項
 - 1) 6月例会（案）の件
 - 2) 4月例会決算承認の件
 - 3) サケの稚魚放流事業決算承認の件
 - 4) 世代間協働推進委員会意見交換会決算承認の件
 - 5) 2009年度選挙管理委員会委員の件
 - 6) 秋田県身体障害者福祉大会への後援依頼の件
 - 7) その他

第6回理事会

1. 日 時 2009年6月3日（水）18：00～
2. 場 所 秋田キャッスルホテル
3. 審議事項
 - 1) 7月例会（案）の件
 - 2) 5月例会決算承認の件
 - 3) 青少年育成委員会オープン委員会決算承認の件
 - 4) 地域の魅力創造委員会オープン委員会決算承認の件
 - 5) 「ザ・パワーオブミュージックフロムアキタ 5 th」後援名義使用の件
 - 6) その他

第7回理事会

1. 日 時 2009年7月2日（木）18：00～
2. 場 所 ユーランドホテル八橋
3. 審議事項
 - 1) 8月例会（案）の件
 - 2) 6月例会決算承認の件
 - 3) 「おもいやり」の心推進委員会事業Ⅰ（案）の件
 - 4) 青少年育成委員会事業（案）の件
 - 5) 2009年度世代間協働事業循環アグリ事業予算（案）の件
 - 6) 2009年度世代間協働事業あきた民話劇予算（案）の件
 - 7) 環境行動推進委員会オープン委員会決算承認の件
 - 8) 下期新入会員承認の件

- 9) 下期新入会員配属（案）の件
- 10) その他

第8回理事会

1. 日 時 2009年8月11日（火）18：00～
2. 場 所 秋田キャッスルホテル
3. 審議事項 1) 9月定時総会（案）の件
2) 9月例会（案）の件
3) 7月例会決算承認の件
4) 世代間協働事業（案）の件
5) その他

第9回理事会

1. 日 時 2009年9月10日（木）18：00～
2. 場 所 ユーランドホテル八橋
3. 審議事項 1) 10月例会（案）の件
2) 8月例会決算承認の件
3) 補正予算（案）の件
4) 環境行動推進委員会事業（案）の件
5) 親子おもいやりスクール決算承認の件
6) 2010年度理事承認の件
7) 2010年度副理事長・専務理事承認の件
8) その他

第10回理事会

1. 日 時 2009年10月1日（木）18：00～
2. 場 所 ユーランドホテル八橋
3. 審議事項 1) 11月例会（案）の件
2) 9月定時総会決算承認の件
3) 9月例会決算承認の件
4) 10月例会次第再審議の件
5) 企業貢献力向上委員会事業（案）の件
6) 「おもいやり」の心推進委員会事業Ⅱ（案）の件
7) 青少年育成委員会事業決算承認の件
8) 下期仮会員承認の件
9) 下期仮会員における理事会で指定する諸会合（案）の件
10) 2010年度常任理事承認の件
11) その他

第11回理事会

1. 日 時 2009年11月5日（木）18：00～
2. 場 所 秋田キャッスルホテル
3. 審議事項
 - 1) 12月臨時総会（案）の件
 - 2) 12月例会（案）の件
 - 3) 卒業式（案）の件
 - 4) 10月例会決算承認の件
 - 5) 地域の魅力創造委員会事業（案）の件
 - 6) 公欠承認の件
 - 7) 賛助会員変更承認の件
 - 8) その他

第12回理事会

1. 日 時 2009年12月7日（月）18：00～
2. 場 所 秋田キャッスルホテル
3. 審議事項
 - 1) 2010年度予算（案）の件
 - 2) 11月例会決算承認の件
 - 3) 世代間協働事業「あきたふれ愛フェスタ」決算承認の件
 - 4) 人間力開発プログラム決算承認の件
 - 5) 第25回全国J Cサッカー選手権大会秋田大会決算承認の件
 - 6) その他

第13回理事会

1. 日 時 2009年12月22日（火）18：00～
2. 場 所 協働大町ビル
3. 審議事項
 - 1) 12月例会・卒業式決算承認の件
 - 2) 地域の魅力創造委員会事業決算承認の件
 - 3) 「おもいやり」の心推進委員会事業Ⅱ「ら・ブックノート」決算承認の件
 - 4) 企業貢献力向上委員会事業決算承認の件
 - 5) 環境行動推進委員会「あきた eco スタイル運動2009」決算承認の件
 - 6) 新入会員承認の件
 - 7) 2009年度決算（案）の件
 - 8) 2009年度竿燈会決算承認の件
 - 9) 入会承認取消の件
 - 10) 復会者承認の件
 - 11) 除名者承認の件
 - 12) その他

(4) 各種事業

◎世代間協働推進委員会意見交換会

- 1. 担当 世代間協働推進委員会
- 2. 日時 2009年4月13日(月) 18時30分～20時05分
- 3. 場所 協働大町ビル
- 4. 開催主旨

様々な社会問題が山積し、地域に閉塞感を感じさせる昨今、人と人との心の繋がりが希薄になっているように思われます。そこで私たちは、幅広い世代の市民が同じ時間を共有し積み上げていくことで、心温まるおもいやりの心を育む事業を進めることが必要と考えます。過去の事業を振り返り、意見交換を行うことで協力団体の方々に、本事業に対する理解を深めていただくと共に、世代間協働事業がより地域の方々に認められる事業へと発展するための企画・検討の場とします。

5. 実施内容

- 6. 満足点
 - ・多くの方に参加いただき、各テーブルで活発な意見交換が行われ、今後の参考となる様々な貴重な意見をいただいた点。
 - ・委員会メンバーが責任を持って各自の役割を果たし、スムーズに進行できた点。
 - ・終了後の懇親会にはメンバー21名、協力団体17名にご参加いただき、懇親を深めるとともに、活発な情報交換を行うことができた点。

7. 不満点

- ・委員会メンバーが少なかった点。
- ・参加協力団体の方の紹介にて、事前打ち合わせが徹底しておらず若干不備があった点。

8. 課題

- ・これから事業に向けて、活動量も増えるので、委員会メンバー全員が意欲的に参加できるように配慮する。

9. その他

- ・事前打ち合わせ、確認等は徹底しておこなう。
- ・いただいた意見の取りまとめを早急に行い、事業の骨子を固める必要がある。

10. 総事業費

25,600円

事業収支決算書

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	0
2. 懇親会収入	0	0	0	0
3. 寄付金収入	0	0	0	0
4. 補助金収入	0	0	0	0
5. 助成金収入	0	0	0	0
6. 広告料収入	0	0	0	0
7. 販売収入	0	0	0	0
8. 事業費繰入収入	30,000	25,600	4,400	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	0
10. 雑収入	0	0	0	0
11. 預り金収入	0	0	0	0
収入合計(1)	30,000	25,600	4,400	
(支出の部)				
1. 会場設営費	30,000	25,600	4,400	
2. 本部団関係費	0	0	0	0
3. 企画・演出費	0	0	0	0
4. 講師関係費	0	0	0	0
5. 資料作成費	0	0	0	0
6. 広報費	0	0	0	0
7. 報告書作成費	0	0	0	0
8. 懇親会費	0	0	0	0
9. 旅費交通費	0	0	0	0
10. 参加記念品費	0	0	0	0
11. 保険料	0	0	0	0
12. 通信費	0	0	0	0
13. 雑費	0	0	0	0
14. 預り金支出	0	0	0	0
15. 予備費	0	0	0	0
支出合計(2)	30,000	25,600	4,400	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	0

◎サケの稚魚放流事業

1. 担当 環境行動推進委員会
 2. 日時 2009年4月11日(土) 10時00分～11時30分
 3. 場所 添川飛鳥田の河川敷公園
 4. 開催主旨 地域の豊かな自然を守り続けていく為に、一人でも多くの方々と環境保護運動を推進していかなくてはなりません。そこで、参加いただいた方々が地域の自然のすばらしさを感じ、この自然を今後もしっかり守り続けていく為、より一層環境保護の大切さを学ぶ場とします。そして1981年から今まで継続しているサケの稚魚放流事業が実施された意義を、メンバー一人ひとりが再確認し、一人でも多くの参加者に伝えていくことが必要です。

5. 実施内容
 サケの稚魚放流・環境○×クイズ
 テーマ 「みんなで行動しよう！この豊かな自然を守る為」

6. 満足点
 ・事前に関係諸団体と綿密な打ち合わせができた点。
 ・初めでの試みだったクイズにも興味を持って参加していただき、カートカンの配布などを通して子供達に環境保護の大切さを伝えられた点。
 ・多くのメンバーにご協力いただき、それぞれが役割を確実に遂行した点。

7. 不満点
 ・昨年から課題を引継ぎ、改善できていた点。
 ・スタッフジャンパーが不足してしまっ点。
 ・協力していただいたメンバーの担当によって大幅な空き時間ができてしまった点。

8. 課題
 ・事業の際はJCジャンパーを多めに用意すること。
 ・当日の担当ごとのスケジュールの精査が必要
 ・市民がたくさん集まってくれた事業で、もつと他の事業もアピールすることが可能と感じた。

10. 総事業費 116,296円

事業収支決算書

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	120,000	116,296	3,704	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	120,000	116,296	3,704	
(支出の部)				
1. 会場設営費	73,500	73,500	0	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	0	0	0	
5. 資料作成費	0	0	0	
6. 広報報成費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	30,000	30,000	0	
11. 保険料	10,500	10,500	0	
12. 通信費	880	880	0	
13. 雑費	2,000	1,416	584	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	3,120	0	3,120	
支出合計(2)	120,000	116,296	3,704	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

事業収支決算書

- ◎青少年育成委員会 オープン委員会
 青少年育成委員会
 1. 担当 2009年4月24日(金) 18:00~20:40
 2. 日時 サンバル秋田 大会議室
 3. 場所 大人と子供が毎日、コミュニケーションをとって
 4. 開催主旨 互いの気持ちが増え、道徳心
 の下が見え、子供に対する能
 動的な関わり方、聞き方を学
 び、子供との人間関係を築
 く手法を学びます。その後、
 子供を対象とした事業にお
 いても活用できる場としま
 す。

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	200,000	199,415	585	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	200,000	199,415	585	
(支出の部)				
1. 会場設営費	3,150	3,150	0	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	177,410	177,410	0	
5. 資料作成費	5,000	4,935	65	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	13,520	13,920	△400	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	920	0	920	
支出合計(2)	200,000	199,415	585	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

5. 実施内容
 講演・意見交換会
 講師 鈴木 みどり氏
 テーマ 「能動的な会話から育む子供の道徳心」
 ・多くのメンバーをはじめ、招待者の方々に熱心に聞いていただいた点。
 ・途中退席者も無く、講師の先生からも熱意が感じられたと言っていた点。
 ・ご講演と意見交換会から、これからの事業につながるヒントが得られた点。
 ・委員会メンバーがそれぞれの役割を遂行しスムーズに設営できた点。
 ・会員の集合が遅く開始時間が遅れてしまった点。
 ・会場の都合上、講演に十分な時間がとれなかった点。
 ・意見交換の目的が曖昧に伝わっていた点。
 ・開始時間が早く、外部の方をお呼びする際は時間厳守を徹底すること。
 ・意見交換の主旨を事前に書面でわかり易く伝え確認すること。
 ・懇親会にも多くの方に出席していただき、素直な意見を多数いただいた。
- 199,415円
11. 出席率

◎地域の魅力創造委員会オープン委員会

書式一4

事業収支決算書

1. 担当 地域の魅力創造委員会

2. 日時 2009年4月28日(火) 18時30分～20時45分

3. 場所 ユースパル 2F 大会議室

4. 開催主旨 私たちが生活しているあるあるには日頃見過ごしがちな「隠れた魅力」がまだまだあると思います。市民・J・Cが協力し、より多くの市民が誇りと愛着をもって生活していくためには、あきただの「隠れた魅力」を発掘し、意見交換することで、事業に反映させていくことが必要と考えます。

5. 実施内容 オープン委員会

テーマ 「あきただの隠れた魅力を新たなまちづくりのテーマとしよう」

6. 満足点 ・各テーブルとも、活発なディスカッションを行っていた点。

・外部招待者も交えてディスカッションを行ったことにより、様々な意見を聞くことができ、今後行う事業のヒントになった点。

7. 不満点 ・ディスカッション前の説明段階で、パワーポイントと委員長の説明にずれが生じた点。

8. 課題 ・事前の委員会では、ディスカッションの進め方については十分な打合せを行ったが、ディスカッション前までの進め方については打合せが不十分だった。今後は全体をとおして十分な打合せを行い、円滑なオープン委員会を開催したい。

9. その他 特になし

10. 総事業費 25,460円

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	33,100	25,460	7,640	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	33,100	25,460	7,640	
(支出の部)				
1. 会場設営費	3,900	3,900	0	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	21,000	18,900	2,100	
4. 講師関係費	0	0	0	
5. 資料作成費	5,750	2,020	3,730	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	1,600	640	960	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	850	0	850	
支出合計(2)	33,100	25,460	7,640	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

事業収支決算書

- ◎環境行動推進委員会オープン委員会
 環境行動推進委員会
 2009年5月25日(月) 19時00分～20時45分
 協働大町ビル
1. 担当
 2. 日時
 3. 場所
 4. 開催主旨

家庭からの二酸化炭素排出量が増加し、温暖化が進む深刻な状況において、日々の生活の中から実践可能な尚且つ効果的な環境保護運動に迅速に取り組むことが必要です。我々一人ひとりが行える環境保護運動をより多くの方々と展開していく事により、身近な所から環境問題に対する意識改革も可能と考えます。

そこで、今後の事業展開の為に行政や他団体とそれぞれの知識や経験をもとにディスカッションし、日々の生活の中から実践可能な環境保護運動を展開するため、検討し今後の事業に活かすことが必要と考えます。

意見交換会

テーマ

「共に考え取り組もう、より良い環境保護運動を目指して！」

・事前に作製した素案の調査をしっかりと行っていたことから、スムーズにわかり易く事業素案の説明ができた点。

・テーパーリーダーがそれぞれの持ち場でいろいろな新しい意見を抽出できた点。

・委員会メンバーがそれぞれの役割を遂行しスムーズに設営できた点。

・意見交換会から、事業につながるいろいろなヒントが得られた点。

・素案以外について話し合う時間が少なかった点。

・事前に予定日を伝えておき、できるだけ早めの案内発送を徹底すること。

・外部協力者の参加が少なかった点。

・行政や環境保護運動をされている方から今後も協力するとおっしゃっていただけたので、連絡を密に取りながら進めていきたい。

17,120円

5. 実施内容

6. 満足点

7. 不満点

8. 課題

9. その他

10. 総事業費

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	37,000	17,120	19,880	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	37,000	17,120	19,880	
(支出の部)				
1. 会場設営費	15,000	15,000	0	
2. 本部関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	20,000	1,000	19,000	
4. 講師関係費	0	0	0	
5. 資料作成費	0	0	0	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	1,520	1,120	400	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	480	0	480	
支出合計(2)	37,000	17,120	19,880	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎事業Ⅰ 親子おもいやりスクール

1. 担当 「おもいやり」の心推進委員会
 2. 日時 2009年8月2日(日) 9時00分～15時00分
 3. 場所 太平山自然学習センターまんならめ
 4. 開催主旨 現代は、核家族化が進んだことや、生活様式の多様化により、以前より家族や周囲とのコミュニケーションが希薄になってきていると感じます。また、それが様々な事件や社会問題につながってきていると思います。

お互いが相手をおもいやり、支え合い、助け合うま
 ち、あきたを創造するために、一人ひとりが家族や、
 周囲との関わり大切さを学び、相手を思いやる心
 を育み、その大切さを伝えていくことが必要だと考
 えます。

5. 実施内容
 ・おもいやりクイズオリエンテーリング
 ・野外炊飯

- ・「学」の夏休み
 ・アイスカッション
 ・委員会メンバーが一丸となって運営した点。
 ・お手伝いいただいたメンバ―も役割を把握して積
 極的に動いてくれた点。

- ・事故や怪我もなく、概ね時間通りに進められた点。
 ・応募が思うように集まらず、参加者に関係者が多
 かった点。
 ・時間のかかるチェックポイントで渋滞してしまっ
 た点

8. 課題
 ・開催日程は対象や他のイベント等も確認した上で
 設定したほうが良い。

9. その他
 ・参加者親子13組
 84,500円

事業収支決算書

書式ー4

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	88,300	84,500	3,800	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	88,300	84,500	3,800	
(支出の部)				
1. 会場設 営 費	47,819	47,384	435	
2. 本部団 関係 費	0	0	0	
3. 企画・演 出 費	7,364	7,314	50	
4. 講師 関係 費	0	0	0	
5. 資 料 作 成 費	0	0	0	
6. 広 報 費	15,750	15,750	0	
7. 報 告 書 作 成 費	0	0	0	
8. 懇 親 会 費	0	0	0	
9. 旅 費 交 通 費	0	0	0	
10. 参 加 記 念 品 費	0	0	0	
11. 保 険 料	1,873	1,800	73	
12. 通 信 費	1,600	560	1,040	
13. 雑 費	11,343	11,692	△349	
14. 預 り 金 支 出	0	0	0	
15. 予 備 費	2,551	0	2,551	
支出合計(2)	88,300	84,500	3,800	
収支差額(1)ー(2)	0	0	0	

◎青少年育成事業

1. 担当時 青少年育成委員会
 2. 日時 2009年8月22日(土) 10:00~17:00
 3. 場所 秋田県児童会館 レクレーションホール・創作陶芸室

4. 開催主旨 大人と子供のお互いの思いが伝わらない為におこるような残念な事件が増加し、道徳心の低下が叫ばれております。今こそ我々が先祖代々から引き継いできた道徳心を幼児期から子供達に伝えていくことが必要と考えます。
 そこで、多くの4歳児から8歳児までの子供が一緒に集える場所で、視覚的に体験するという形にする8つの道徳心を、親に体験するということにする事で、道徳心を育み、より多くの子供たちと親に伝え、広める事が必要と考えます。
 道徳心を育む紙芝居の鑑賞と工作体験(計3回)

5. 実施内容 テーマ 「みんなあつまれ!」
 見て!遊んで!育む どうとくしん!

6. 満足点 ・子供たちが笑顔で親御さんと楽しく事業に参加していた点。
 ・3回の実施を怪我もなくスムーズに行えた点。

7. 不満足点 ・外部協力者の方々をはじめ、多くのメンバーにお手伝いいただきながら、委員会メンバーがそれぞれの役割を遂行しスムーズに設営できた点。
 ・オープン委員会で頂いた意見を場所の選定や事業内容に反映できた点。
 ・1日3回の実施の中で、改善点を随時修正しスキルアップできた点。

8. 課題 ・紙芝居終了後の8つの道徳心の説明へかける時間が十分でなかった点。
 ・道徳心を伝え、さらに広めることについて説明すべきであった点。
 ・紙芝居の内容をもう少し簡潔にしてもよかったこと。

9. その他 ・母親世代が最も情報を得る媒体である秋田市広報に掲載できればさらに参加者を増やし、広めることができるとは、時間的に不可能な部分もあるため、一考が必要。

10. 総事業費 特になし
 117,452円

事業収支決算書

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	122,000	117,452	4,548	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	122,000	117,452	4,548	
(支出の部)				
1. 会場設営費	0	0	0	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	17,400	13,060	4,340	
4. 講師関係費	27,222	27,222	0	
5. 資料作成費	72,890	72,890	0	
6. 広報費	3,000	3,000	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	1,280	1,280	0	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	208	0	208	
支出合計(2)	122,000	117,452	4,548	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎人間力開発プログラム「学の夏休み」 旭北小学校

1. 担当 人間力開発委員会
 2. 日時 2009年7月6日(月) 13時45分～15時00分
 3. 場所 秋田市立旭北小学校
 4. 開催主旨 秋田JCでは、多年にわたり継続的に「HANAU

TA」[学の夏休み]など人間力開発プログラムを実施、様々な思いを伝えてきました。昨年度までも多数実施されてきましたが、未だプログラムを受けたことのない市民も多く、また社会情勢も報道などを見る限りまだまだ実施を必要としている状況のようです。

そこで本年度は昨年度までの検証をふまえ、実施に重点をおいて人間力開発プログラムを行っていく必要があると思います。

5. 実施内容 人間力開発プログラム

「学の夏休み」

6. 満足点
 ・児童が真剣に受講していただいたこと。
 ・保護者の方にも児童と一緒にディスカッションに参加していただいたことにより、家庭ではあまり話せなかったことなども、親子でお話していただいた点。

- ・2箇所同時開催でしたが、どちらも順調に進行できた点。

7. 不満点
 ・ディスカッションにおいて、意見があまり出ない消極的なグループがあったこと。

8. 課題
 ・ディスカッションにおいて、受講していただいた

児童から、活発な意見が出るように、委員会メンバーのスキルをもっと上げる必要がある。

9. その他 特になし

10. 総事業費 0円

◎人間力開発プログラム「学の夏休み」 牛島小学校

1. 担当 人間力開発委員会
 2. 日時 2009年7月8日(水) 10時40分～11時50分
 3. 場所 秋田市立牛島小学校
 4. 開催主旨 秋田JCでは、多年にわたり継続的に「HANAU

TA」[学の夏休み]など人間力開発プログラムを実施、様々な思いを伝えてきました。昨年度までも多数実施されてきましたが、未だプログラムを受けたことのない市民も多く、また社会情勢も報道などを見る限りまだまだ実施を必要としている状況のようです。

そこで本年度は昨年度までの検証をふまえ、実施に重点をおいて人間力開発プログラムを行っていく必要があると思います。

5. 実施内容 人間力開発プログラム

「学の夏休み」

6. 満足点
 ・児童が積極的に発言していただいた点。
 ・大人数の開催でしたが、比較的進行がスムーズに行うことが出来た点。

7. 不満点
 ・ディスカッションがあまりうまく出来ていないグループが見られた点。

8. 課題
 ・大人数での開催の場合、メンバーが付き添えないため、グループによってはディスカッションがうまくいっていないところもあった。今後は児童がもっと簡単に、そして活発にディスカッションでききる手法を検討する必要がある。
9. その他
 特になし
10. 総事業費
 0円

◎人間力開発プログラム「学の夏休み」 明德小学校

1. 担当
 人間力開発委員会
2. 日時
 2009年8月26日（水）10時40分～11時25分
3. 場所
 秋田市立明德小学校
4. 開催主旨
 秋田JCでは、多年にわたり継続的に「HANAU TA」[学の夏休み]など人間力開発プログラムを実施、様々な思いを伝えてきました。昨年度までも多数実施されてきましたが、未だプログラムを受けたことのない市民も多く、また社会情勢も報道などを見る限りまだまだ実施を必要としている状況のようです。
5. 実施内容
 人間力開発プログラム
 「学の夏休み」
6. 満足点
 ・メンバーが児童とスムーズにコミュニケーションがとれた点。

7. 不満点
 ・児童が真剣にプログラムに取り組んでいた点。
 ・プログラムの最後のほうの感想発表者を選定するのに、時間がかかってしまった点。
8. 課題
 ・短いディスカッションの時間の中で、すばやく発表者を選定する方法を検討する必要がある。
9. その他
 特になし
10. 総事業費
 0円

◎人間力開発プログラム「学の夏休み」 旭川小学校

1. 担当
 人間力開発委員会
2. 日時
 2009年8月27日（木）9時30分～12時20分
3. 場所
 秋田市立旭川小学校
4. 開催主旨
 秋田JCでは、多年にわたり継続的に「HANAU TA」[学の夏休み]など人間力開発プログラムを実施、様々な思いを伝えてきました。昨年度までも多数実施されてきましたが、未だプログラムを受けたことのない市民も多く、また社会情勢も報道などを見る限りまだまだ実施を必要としている状況のようです。
5. 実施内容
 人間力開発プログラム
 「学の夏休み」
6. 満足点
 ・三回にわたっての開催でしたが、どの回もスムーズに運営できた点。

- ・委員会メンバーと児童のコミュニケーションがうまくとれていた点。
- ・ディスカッションで児童が積極的に参加していた点。
- 7. 不満点
 - ・ディスカッションは積極的だったが、発表者の選定がなかなか決まらず、じゃんけんという手法を用いて、強引に決めた点。
- 8. 課題
 - ・感想発表者を各グループから、すばやく選定するために、じゃんけんを用いたが、負ける人が発表するということで、担任の先生よりご指導いただきました。じゃんけんは最終手段ではあるが、今後は、じゃんけんを用いるにしても、勝った人が発表するように改善していく。
- 9. その他
 - 特になし
- 10. 総事業費
 - 0円

◎人間力開発プログラム「学の夏休み」 外旭川小学校

1. 担当
 - 人間力開発委員会
2. 日時
 - 2009年8月28日（金）9時30分～12時20分
3. 場所
 - 秋田市立外旭川小学校
4. 開催主旨
 - 秋田JCでは、多年にわたり継続的に「HANAU TA」「学の夏休み」など人間力開発プログラムを実施、様々な思いを伝えてきました。昨年度までも多数実施されてきましたが、未だプログラムを受けたことのない市民も多く、また社会情勢も報道などを見る限りまだまだ実施を必要としている状況のよ

うです。
 そこで本年度は昨年度までの検証をふまえ、実施に重点を置いて人間力開発プログラムを行っていく必要があると思います。

5. 実施内容
 - 人間力開発プログラム
 - 「学の夏休み」
6. 満足点
 - ・急遽の開催となったが、委員長をはじめとした、委員会メンバーが一生懸命運営したことにより、プログラムをスムーズに行えた点。
7. 不満点
 - ・児童に積極的に発表してもらった点。
 - ・メンバーの人数が不足しているという点で、ディスカッションを児童にまかせてしまった点。
8. 課題
 - ・急遽の開催で、メンバーが少なく、ディスカッションに一人ずつ参加できなかつた。そのため、グループによってはディスカッションの温度差が生じてしまったので、今後、急遽の開催もありえるので、その場合の質問の選定の選定なども再度検討する必要がある。
9. その他
 - 特になし
10. 総事業費
 - 0円

◎人間力開発プログラム「学の夏休み」 旭南小学校

1. 担当
 - 人間力開発委員会
2. 日時
 - 2009年8月31日（月）10時50分～11時50分
3. 場所
 - 秋田市立旭南小学校

4. 開催主旨 秋田JCでは、多年にわたり継続的に「HANAU TA」[学の夏休み]など人間力開発プログラムを
実施、様々な思いを伝えてきました。昨年度までも
多数実施されてきましたが、未だプログラムを受け
たことのない市民も多く、また社会情勢も報道など
を見る限りまだまだ実施を必要としている状況のよ
うです。
そこで本年度は昨年度までの検証をふまえ、実施に
重点をおいて人間力開発プログラムを行っていく必
要があると思います。

5. 実施内容 人間力開発プログラム
「学の夏休み」
6. 満足点 ・児童が真剣にプログラムを受けていた点。
・ディスカッションも活発に発言していて、コミュ
ニケーションもうまく取れていた点。
7. 不満点 特になし
8. 課題 特になし
9. その他 特になし
10. 総事業費 0円

◎人間力開発プログラム「学の夏休み」 上新城小学校

1. 担当 人間力開発委員会
2. 日時 2009年9月1日(火) 8時40分～9時25分
3. 場所 秋田市立上新城小学校
4. 開催主旨 秋田JCでは、多年にわたり継続的に「HANAU
TA」[学の夏休み]など人間力開発プログラムを

実施、様々な思いを伝えてきました。昨年度までも
多数実施されてきましたが、未だプログラムを受け
たことのない市民も多く、また社会情勢も報道など
を見る限りまだまだ実施を必要としている状況のよ
うです。

そこで本年度は昨年度までの検証をふまえ、実施に
重点をおいて人間力開発プログラムを行っていく必
要があると思います。

5. 実施内容 人間力開発プログラム
「学の夏休み」
6. 満足点 ・ディスカッションで十分に意見や感想を聞くこと
ができた点。
・少人数であったため、一人ひとりのコミュニ
ケーションが十分にとれた点。
7. 不満点 ・暗幕がない部屋だったので、DVDが多少見づら
かった点。
8. 課題 ・開催前の最終チェックにおいて、DVDを見る部
屋の環境についても確認する必要がある。
9. その他 特になし
10. 総事業費 0円

◎人間力開発プログラム「学の夏休み」 四ツ小屋小学校

1. 担当 人間力開発委員会
2. 日時 2009年9月1日(火) 11時25分～12時10分
3. 場所 秋田市立四ツ小屋小学校
4. 開催主旨 秋田JCでは、多年にわたり継続的に「HANAU

TA)「学の夏休み」など人間力開発プログラムを実施、様々な思いを伝えてきました。昨年度までも多数実施されてきましたが、未だプログラムを受けたことのない市民も多く、また社会情勢も報道などを見る限りまだまだ実施を必要としている状況のようです。

そこで本年度は昨年度までの検証をふまえ、実施に重点をおいて人間力開発プログラムを行っていく必要があると思います。

5. 実施内容

人間力開発プログラム

「学の夏休み」

- 6. 満足点
 - ・児童が真剣にプログラムに取り組んでいた点。
 - ・児童がディスカッションに積極的に取り組んでいた点。
 - ・感想発表者も即座に決まり、積極的に発言していた点。

- 7. 不満点
 - ・経験をつませるために、委員会メンバーにアイスブレークを担当してもらったが、少々混乱する場面があった点。

- 8. 課題
 - ・委員長自信のプログラム展開力は問題ないが、今後は委員会メンバーにもそのスキルを継承してもらうために、さらなる練習・実践が必要である。

- 9. その他
 - 特になし

- 10. 総事業費
 - 0円

◎人間力開発プログラム「学の夏休み」 仁井田小学校

- 1. 担当
 - 人間力開発委員会
- 2. 日時
 - 2009年9月3日(木) 9時40分～11時30分
- 3. 場所
 - 秋田市立仁井田小学校
- 4. 開催主旨
 - 秋田JCでは、多年にわたり継続的に「HANAU TA)「学の夏休み」など人間力開発プログラムを実施、様々な思いを伝えてきました。昨年度までも多数実施されてきましたが、未だプログラムを受けたことのない市民も多く、また社会情勢も報道などを見る限りまだまだ実施を必要としている状況のようです。

そこで本年度は昨年度までの検証をふまえ、実施に重点をおいて人間力開発プログラムを行っていく必要があると思います。

人間力開発プログラム

「学の夏休み」

- 5. 実施内容
 - 人間力開発プログラム
- 6. 満足点
 - ・児童が興味を持って、プログラムに取り組んでいた点。
- 7. 不満点
 - ・時間が短く、また、開始時刻も遅れたためディスカッションの時間が十分に取れなかった点。

- 8. 課題
 - ・予定外のアクシデントで時間が短くなったときのための、プログラムの進め方も検討する必要がある。

- 9. その他
 - ・児童に新型インフルエンザの発生が確認されたために、学校内が慌しくなり、なかなか時間どおりに始められませんでした。

10. 総事業費 0円

書式-4

事業収支決算書

◎人間力開発プログラム「学の夏休み」 東湖小学校

1. 担当 人間力開発委員会
2. 日時 2009年9月16日 (水) 10時40分～11時40分
3. 場所 潟上市立東湖小学校
4. 開催主旨 秋田JCでは、多年にわたり継続的に「HANAU TA」[学の夏休み]など人間力開発プログラムを実施、様々な思いを伝えてきました。昨年度までも多数実施されてきましたが、未だプログラムを受けたいことのない市民も多く、また社会情勢も報道などを見る限りまだまだ実施を必要としている状況のようです。

そこで本年度は昨年度までの検証をふまえ、実施に重点を置いて人間力開発プログラムを行っていく必要があると思います。

5. 実施内容 人間力開発プログラム
「学の夏休み」
6. 満足点
 - ・児童が真剣にプログラムに取り組んでいた点。
 - ・児童がディスカッションに積極的に参加し発言していた点。
 - ・感想発表者もはきはきときちんと発表していた点。
7. 不満点 特になし
8. 課題 特になし
9. その他 特になし
10. 総事業費 0円

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	43,260	12,879	30,381	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	43,260	12,879	30,381	
(支出の部)				
1. 会場設営費	0	0	0	
2. 本部関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	0	0	0	
5. 資料作成費	40,000	11,439	28,561	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	2,000	1,440	560	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	1,260	0	1,260	
支出合計(2)	43,260	12,879	30,381	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎世代間協働推進事業

1. 担当 世代間協働推進委員会
 2. 日時 2009年9月27日(日) 9時00分～16時00分
 3. 場所 秋田市大森山動物園ミルヴェ
 4. 開催主旨 生きがいのある心豊かな社会の実現を目指し、三愛精神のもと2007年度より世代間協働事業が始まりました。核家族化の進行や隣人への無関心により希薄になった地域や家族のコミュニケーション回復と共に郷土愛に溢れた笑顔が彩るまちあきた実現を目指します。

5. 実施内容 2009あきたふれ愛フェスタ～ミルヴェいきくべ～
 テーマ 「心と心のふれ愛から、笑顔彩る未来を創造しよう！」

6. 満足点 ・地域の方々が多くの笑顔で時間と体験を共有出来た点
 ・準備段階から協力者の方々と信頼関係が出来た点
 ・他委員会の事業と共催出来た点

7. 不満点 ・事業前の全体会議の参加人数が少なく、役割を伝え切れなかった点
 ・予想参加人数を超えたため、順番待ちや参加できない方がいらった点

8. 課題 製作した花壇など今後継続的に関わる必要のあるものについて、引継ぎの方法を明確にする必要があります。

9. その他 参加者の約5%の方に、参加のきっかけ、良かった設定等アンケートにお答えいただきました。チラシ・ポスターを見てと参加したという方が約半数あり、参加促進に繋がりました。また、挨拶スタンプラリー、花壇製作、オラバック作成など体験が良かったという回答より伝えたいことが効果的に伝わったと考えます。

10. 総事業費 859,116円

事業収支決算書

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	876,000	859,116	16,884	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	876,000	859,116	16,884	
(支出の部)				
1. 会場設営費	217,710	222,499	△4,789	
2. 本部団関係費	46,100	48,500	△2,400	
3. 企画・演出費	180,000	147,094	32,906	
4. 講師関係費	25,000	48,428	△23,428	
5. 資料作成費	45,000	45,000	0	
6. 広報報費	312,900	312,900	0	
7. 報告書作成費	5,000	3,696	1,304	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	20,000	30,999	△10,999	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	0	0	0	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	24,290	0	24,290	
支出合計(2)	876,000	859,116	16,884	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎第25回全国J Cサッカー選手権大会 秋田大会

1. 担当 第25回全国J Cサッカー選手権大会 秋田大会 実行委員会

2. 日時 2009年10月24日 8時30分～10月25日16時00分

3. 場所 秋田市・男鹿市の各会場、秋田ビューホテル

4. 開催主旨 第25回全国J Cサッカー選手権大会を秋田にて開催すること、全国各地の青年会議所メンバーに秋田の魅力を体感していただくとともに、参加LOMのメンバーとの交流を図る機会とします。また、LOMを挙げての事業を行うことで、我々が今後行う事業への気付きを得ることを目的とし、さらに多くの方々に来秋いただくことで地域活性化の一助となることを目指します。

5. 実施内容 24日：開会式・予選リーグ戦・大懇親会 25日：決勝トーナメント・フレンドリーマッチ・閉会式

6. 満足点 全国各地より参加いただいたメンバーに喜んでいただけた事。大会開催にあたりLOMメンバーが臨機応変に運営にかかわっていただけた事。参加者が秋田の町を堪能していただいたことで、地域に還元できたこと。

7. 不満点
8. 課題 今回の設営において学んだことを今後の事業に役立てていくこと。

9. その他
10. 総事業費 300,000円

事業収支決算書

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	300,000	300,000	0	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	300,000	300,000	0	
(支出の部)				
1. 会場設営費	150,000	150,000	0	
2. 本部団関係費	100,000	100,000	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	0	0	0	
5. 資料作成費	0	0	0	
6. 広報報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	50,000	50,000	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険除料	0	0	0	
12. 通信費	0	0	0	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	0	0	0	
支出合計(2)	300,000	300,000	0	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎あきた eco スタイル運動2009

1. 担当 環境行動推進委員会
 2. 日時 2009年9月27日(日) 10時30分～15時30分
 2009年10月3日(土) 13時30分～16時45分
 2009年11月21日(土) 13時30分～16時45分
 3. 場所 大森山動物園(世代間協働事業)
 TOKI工房セッション工科専門学校2F

4. 開催主旨 (第一回・第二回)
 今もなお温暖化が進み続ける深刻で切迫した状況において、資源の節約こそがCO₂排出量削減に繋がっており、地球温暖化防止に最も重要な環境保護運動と考えられます。しかし、各企業や行政を中心に積極的に訴え取り組みまれている資源の節約も、個人レベルではまだまだ浸透しておりません。そこで、エコバックを通して身近に取り組める環境保護運動の重要性を伝えることで、多くの市民の意識改革と行動改革を促します。

5. 実施内容 エコバック作製・身近でできる環境保護講習
 テーマ「オラバック(O R Aバック)で買い物に出かけよう」

6. 満足点
 ・多くの市民の方々に楽しみながら環境保護につながるオラバックを作製していただけた点。
 ・趣旨に賛同いただき、各学校や生徒さんからの理解と協力により、協働して事業を進められた点。
 ・秋田市環境部さんの協力により、身近にできる環境保護運動が、相乗効果で分り易く伝えられた点。
 ・委員会メンバーがそれぞれの役割を遂行しスムーズに設営できた点。
 ・ミンなどの都合により体験者が少なくなってしまう点。
 ・作り方テキストの完成度が低かった点。
 ・ホームページコンテンツの応募が少なかった点。
 ・多くの参加者に対応するため、1日2回開催するなど工夫が必要。
 ・P R活動をしつかりと行うこと。
 7. 不満点
 ・P R活動無し。
 8. 課題
 ・P R活動無し。
 9. その他
 10. 総事業費 231,540円

事業収支決算書

書式一4

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	240,000	231,540	8,460	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	240,000	231,540	8,460	
(支出の部)				
1. 会場設営費	50,000	50,000	0	
2. 本部団関係費	81,500	81,500	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	0	0	0	
5. 資料作成費	4,000	4,000	0	
6. 広報費	57,700	57,700	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	29,600	29,600	0	
11. 保険料	4,900	4,900	0	
12. 通信費	6,500	3,840	2,660	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	5,800	0	5,800	
支出合計(2)	240,000	231,540	8,460	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎企業貢献力向上事業

1. 担当 企業貢献力向上委員会
2. 日時 ハーモニーⅠ 2009年10月10日(土) 9時00分～12時00分
ハーモニーⅡ 2009年11月6日(金) 17時30分～18時30分
ハーモニーⅢ 2009年11月9日(月) 17時30分～18時30分
3. 場所 ハーモニーⅠ サンパル秋田
ハーモニーⅡ 保戸野地区、中通地区
ハーモニーⅢ 各企業
4. 開催主旨 地域に存在する企業が、地域への思いやりを胸に「地域防災」に対して役割を果たすことが期待されています。多くの企業が地域防災について考え、具体的に取り組み、「地域防災」に参加することで、地域・企業・行政が共に安全・安心・信頼でつながるべきを指します。
5. 実施内容 ハーモニーⅠ：防災訓練
ハーモニーⅡ：地域防災～地域、企業、行政～
ハーモニーⅢ：地域防災協力事業所シール運動
6. 満足点 ・多くのメンバー企業と行政と市民が同じ目的を持って事業を実施することが出来き、互いの距離が近くなった点
・企業の地域に対して出来ることの可能性を指し示す事が出来た点
7. 不満点 ・新聞にて報道され、市長にも参加いただけた点
・メンバー企業に対する働きかけの効果が少なく、全てのメンバー企業に参加いただけなかった点。
8. 課題 ・雨天時の対応が準備不足であった点。
・企画段階より参加促進活動について計画する必要がある。
・屋外での事業については、雨天時の対応についても十分に配慮するべきである。
9. その他 特になし。
10. 総事業費 60,510円

事業収支決算書

書式-4

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	65,700	60,510	5,190	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	65,700	60,510	5,190	
(支出の部)				
1. 会場設営費	15,750	15,750	0	
2. 本部団関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	14,500	14,940	△440	
4. 講師関係費	0	0	0	
5. 資料作成費	26,200	26,200	0	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	3,300	3,300	0	
12. 通信費	640	320	320	
13. 雑費	4,500	0	4,500	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	810	0	810	
支出合計(2)	65,700	60,510	5,190	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

～私から貴方へ。貴方から大切な人へ伝えるありがとう～
テーマ 大切なあなたへ おもいやりメッセージバトン

1. 担当 「おもいやり」の心推進委員会
2. 日時 2009年10月上旬～
3. 場所 秋田市内 ホームページ上
4. 開催主旨 現代は携帯電話やメールなどのコミュニケーション手段が発達した一方で、人と人との直接的なつながりが希薄になってきていると感じます。そのことが「心が通っていない」と思うような事件の増加や社会問題につながっているとも感じます。
多くの人が、他者との関わりの大切さを考え、相手をおもいやる心を持つことで、身近なコミュニケーションが良好になり、支え合い、助け合う地域創造につながると考えます。

5. 実施内容 ありがとうメッセージ冊子作成と配布
6. 満足点
 - ・委員会メンバーが一丸となって企画から原稿収集・編集にあたった点。
 - ・一般の方に多くのご寄稿いただいた点。
 - ・事業主旨を理解いただき、市長にも寄稿いただき、また、秋田市広報に取り上げていただいた点。
7. 不満点 特になし。
8. 課題
 - ・原稿量がまちなため、カテゴリーごとの構成ができなかった点。
 - ・発行がこの時期となつてしまい、委員会として広がりを検証する時間が取れない点。
 - ・この様な時間をかけ伝播していく事業は、早い段階から取り組むべき。
9. その他 特になし。
10. 総事業費 453,915円

事業収支決算書

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	467,000	453,915	13,085	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	467,000	453,915	13,085	
(支出の部)				
1. 会場設営費	0	0	0	
2. 本部関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	0	0	0	
4. 講師関係費	0	0	0	
5. 資料作成費	12,915	12,915	0	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	441,000	441,000	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	0	0	0	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	13,085	13,085	0	
支出合計(2)	467,000	453,915	13,085	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

事業収支決算書

◎地域の魅力創造委員会事業 あなたとわたしの雄物川

1. 担当 地域の魅力創造委員会
 2. 日時 2009年12月6日(日)10時45分～15時00分
 3. 場所 雄物川流域(新屋棧橋→華の里棧橋→出羽和紙工房→新屋棧橋)

4. 開催主旨
 地域の魅力創造委員会では市民へのアンケートやオープン委員会をおとして、あきたの魅力に対して様々な意見を頂戴しました。多くの市民は自然や食に対して魅力を感じており、委員会としてさらに調査した結果、あきたにとつて雄物川水系は、なくてはならない貴重な存在であることに気づきました。そこで、あきたにとつて貴重な存在である雄物川水系を多くの市民の感性に働きかけ、地域のさらなる魅力にする必要があると考えます。

5. 実施内容
 ハンドブック作成及び雄物川遊覧ツアーの開催

6. 満足点
- ・一般募集で多くの市民の方に参加していただいた点。
 - ・事業をおとして、市民の方に雄物川についての認識を深めていただいたことにより、雄物川について、今まで以上に愛着をもつきっかけとなった点。
 - ・市民の方にも大変好評で、今後とも運動を続けて欲しいと要望された点。
 - ・悪天候にもかかわらず、事故なく、スムーズに事業を運営できた点。
 - ・児童が熱心に出羽和紙体験を受けていた点。
 - ・途中、進行に戸惑った点。
 - ・一般参加者とのコミュニケーションが少なかった点。

8. 課題
 ツアー自体の評価はおおむね良好ではあったが、雄物川についての説明などでも、聞いていただきたいという方とのコミュニケーションを、もう少し密にして、さらに雄物川についての認識を深めていただくことができるようにすることが必要である。

9. その他
 特に無し。
 10. 総事業費
 469,400円

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
(収入の部)				
1. 登録料収入	0	0	0	
2. 懇親会収入	0	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	0	
4. 補助金収入	0	0	0	
5. 助成金収入	0	0	0	
6. 広告料収入	0	0	0	
7. 販売収入	0	0	0	
8. 事業費繰入収入	470,000	469,400	600	
9. 特別事業費繰入収入	0	0	0	
10. 雑収入	0	0	0	
11. 預り金収入	0	0	0	
収入合計(1)	470,000	469,400	600	
(支出の部)				
1. 会場設営費	0	0	0	
2. 本部関係費	0	0	0	
3. 企画・演出費	213,600	158,600	55,000	
4. 講師関係費	0	0	0	
5. 資料作成費	250,000	310,800	△60,800	
6. 広報費	0	0	0	
7. 報告書作成費	0	0	0	
8. 懇親会費	0	0	0	
9. 旅費交通費	0	0	0	
10. 参加記念品費	0	0	0	
11. 保険料	0	0	0	
12. 通信費	0	0	0	
13. 雑費	0	0	0	
14. 預り金支出	0	0	0	
15. 予備費	6,400	0	6,400	
支出合計(2)	470,000	469,400	600	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	

◎クリスマス会

1. 担当 副理事長・専務理事
2. 日時 2009年12月6日(日) 17時30分～19時30分
3. 場所 秋田キャッスルホテル 1F オールデイダイニング「ザ・ハウス」
4. 開催主旨 我々がJＣ活動・運動を行うことができるのも家族や知人がおもしろいやりをもって支えてくれるからと感謝します。クリスマス会では家族や知人とこの一年間の活動を振り返り、日頃伝えることのできない感謝の意を表し、JＣに対する想いを共有する場とします。
5. 実施内容 バイキング形式の設営のもと、本年度の活動への感謝と次年度の活動へのご協力のお願いと秋田JＣの一年を振り返るDVDの上映を行い、有志協賛によるビンゴ大会を実施しました。
 - ・1年間の活動をスライドで家族と共に振り返ること
 - ・進捗が得られたこと
 - ・進行がスムーズに行えたこと
 - ・たくさんのお協賛をいただいたこと
 - ・昨年より参加者数が減ったこと
 - ・独身者を含め参加者が少なく、予算も厳しいので今後の設営の仕方を検討する必要がある
9. その他 特になし。
10. 総事業費 0円

(5) 2009年度 委員会職務分掌

□各委員会共通

計画された事業の推進、理事会の報告、担当例会の設営・運営、要請の伝達、諸大会参加への企画・促進、諸手続き、他 J C との渉外対応、出向者に対する支援、より積極的な会員拡大の推進。

□事務局

理事会の設営・運営、諸行事・諸事業の庶務全般、例会の出欠確認、出席率の算定、同好会の支援。災害時の対応窓口及び災害マニュアルの管理。

□財政局

財務管理、新会計基準の情報の収集及び導入。

【総務・情報室】

□総務委員会

総会の設営・運営、基本資料の作成、会員名簿の作成、褒賞申請の対応、新公益法人制度に関わる法律に準拠した定款及び諸規定の改定。公益社団法人格取得に向けた計画の立案。理事会議事録の作成。各種資料のコンプライアンスチェック。

□情報コミュニケーション委員会

情報発信先・媒体とのコミュニケーションが伴った青年会議所運動の効果的情報発信及びその企画・実践。J C ニュースの企画・発信、各種大会・諸事業の記録、ホームページの管理・運営。

【地域「協働」室】

□世代間協働推進委員会

市民・行政と連携し、幅広い世代の人々と地域の問題に対し取り組み、秋田に誇りをもてる協働事業の企画・実践。秋田 J C 竿燈会への協力。

□企業貢献力向上委員会

企業が積極的にまちづくりに参画できる方策を検討し、会員企業が地域に貢献する力の向上を目指した事業の企画・試行。青年経済人として取り組むべき少子・高齢化社会アクションプランの検証・推進。秋田 J C 竿燈会への協力。

【未来創造室】

□環境行動推進委員会

地域に根差した環境保護運動の調査・企画・実践。秋田市クリーンアップ作戦対応、サケの稚魚放流事業対応。

青少年育成委員会

子供たちの道徳心を育むことに重点をおいた、青少年育成プログラムの企画・実践。心豊かな子供を育む生活規範の提示。わんぱく相撲への対応。

【地域力開発室】

人間力開発委員会

次世代に継承すべき道徳心や倫理観、郷土や日本を愛する気持ちを市民と J C メンバーが共有できる人間力開発プログラム展開の検討・実践。(社)日本青年会議所協働運動展開の検討・実践。H A N A U T A 倶楽部及び T O Y P 倶楽部あきたのサポート。

地域の魅力創造委員会

地域資源の検証を踏まえ、今後のまちづくりのテーマとなる地域の「魅力」の創出・発信。

【「心」の伝播室】

「おもいやり」の心推進委員会

利他の精神に基づく「おもいやり」の心を地域に育んでいく事業の企画・実践。会員相互の絆を深める交流事業の企画・実践。

【会員拡大会議】

全会員による会員拡大を推進するための企画及びその実施。過去の検証を踏まえた J C スクールの企画・運営。O B 会との交流事業の企画・運営。